

平成31年3月20日

関係各位

熊本大学大学院生命科学研究部産科婦人科学
教授 片渕秀隆

拝啓

催花雨のこの頃、間もなく熊本でも桜の開花の便りが聞かれ、咲き誇る万朶の桜が楽しみです。2007年にリリースされた竹内まりやのアルバム『Denim』に収録されている「人生の扉」が先月の機内で流れていました。私と同じ昭和30年生まれの彼女が50を迎えたばかりの頃にした歌詞で、その頃の心境が窺えます。幼なじみの数名と1年に1～2回行くカラオケで、同級生のおばちゃんに謳う十八番です。初めての方に、その中の一節を紹介します。I say it's fun to be 20. You say it's great to be 30. And they say it's lovely to be 40. But I feel it's nice to be 50. I say it's fine to be 60. You say it's alright to be 70. And they say still good to be 80. But I'll maybe live over 90. その後も歌詞は続きます。I still believe it's worth living.

先日、『胎盤のはなし』のタイトルで講演をさせていただきました。私が話した胞状奇胎に関与して、ある外科の先輩から、「双子は1つの卵子に2本の精子が受精してできると思っていました。」とのコメントがありました。それを奇胎のメカニズムであるとして否定の返答をした翌日、手にした最新の *New Engl J Med* (380: 842-849, 2019) に、1.5 卵性双生児 sesquizygotic twin の驚くべき報告が発表されていて、己の無知を恥じました。一卵性双生児には、ごく稀に性染色体の分裂時に双方の性染色体が違う組み合わせで異性が生まれることは既に知られ、その多くがXY (男性) とX0 (女性) のターナー症候群です。今回のオーストラリアの症例は、妊娠中に semi-identical twin が発覚した世界で最初の報告で、児は同じ母方アレルの組み合わせを受け継ぎ、それぞれがキメラ状態で2つの異なる組み合わせの父方アレルを受け継いでいることが示されています。そのメカニズムとして、受精卵の中で3セットの染色体を均等に分けた細胞集塊を形成し、その後分裂してツインになる過程で、いくつかの細胞は1つ目の精子の染色体を持ち、別の細胞は2つ目の精子の染色体を持つことで、DNA を部分的に共有する形で生まれたツインであると解説されています。来年度からの学生講義のスライドが1枚増えます。

平成最後の金曜日、4月26日に教室の歓迎会をホテル日航熊本で予定しております。改めてご案内致しますので、皆様には多数ご参加下さいますようお願い致します。

敬具